

SHORAI BATTERY

取り付けガイド



取り付けが完了するまで、
箱や梱包緩衝剤を捨てないでください！

■ 注意

- ・端子をショートさせないでください。
- ・5ピン BMSポートをショートさせたり、SHORAI BMS01チャージャー以外のものを取り付けしないでください。
- ・バッテリーケースを開けたり、損傷させないでください。
- ・塩分や湿度が高い状態で使用する場合は、腐食防止剤を使ってください。
- ・バッテリーはペットや子ども手の届かないところに保管してください。
- ・13.0V以下で放電させないでください。(静止電圧)
- ・14.8Vを超える電圧で充電しないでください。(標準ピーク充電電圧=14.4V)
- ・高電圧のサルフェーション除去機能を採用している鉛酸チャージャーは使わないでください。ピーク充電電圧が14.4Vあるいはそれ以下の標準鉛酸チャージャーは使用できます。
- ・廃棄前には完全に放電してください。

■ 内容品リスト

- ・SHORAI LFXスターターバッテリー、端子ネジ/ナット1セット
- ・予備の端子ネジ/ナット(A3 鋼、スズメッキ)
- ・5種類のSHORAIステッカー、3サイズ
- ・LFXバッテリーサイズ調整用の高密度粘着剤付き発泡シート各種(必要に応じて)
- ・バッテリーの仕様と寸法を記載した外箱
- ・本取り付けガイド

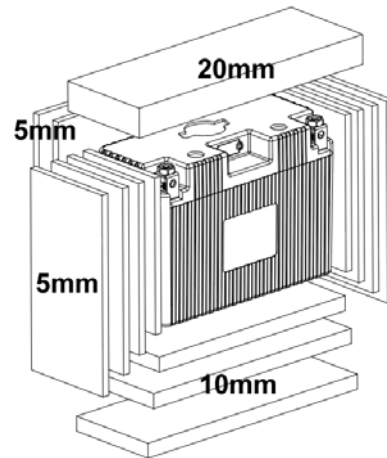


■ 取り付け

まず、搭載予定の車両から、もとの鉛酸バッテリーをメーカーの整備書にしたがって、取り外します。

もとのバッテリーを横にならべて、新しい LFXバッテリーと比較してください。まず、極性 (+/-端子) の配置が両バッテリーと同じことを確認します。もし異なる場合は、SHORAI JAPANに直接ご連絡ください。次に LFXバッテリーが、もとのバッテリーのどの部分の寸法 (長さ、幅、高さ) でも超えていないことを確認します。LFXがいずれかの寸法でもとの寸法を超えて、もとのバッテリーのボックスに入らない場合は、SHORAI JAPAN に直接ご連絡ください。

極性と寸法が適切であることを確認したら、次はもとのバッテリーが、LFXの新品よりも大きいところがあるか確認します。たとえば、2つの製品の幅は同じであるが、もとのバッテリーの高さが25mm高い、などの違いです。このような差がある場合は、同梱されている適切な厚みの粘着剤付きの発泡シートを LFXバッテリーぴったりと貼付け車両のバッテリーボックスに装着し、バッテリーケーブルをとりつける準備を整えます。(下図参照)



LFXバッテリーは、バッテリーケーブルを端子の上部あるいは前面のいずれかにボルト留めできます。ケーブルがよりフィットする方の位置に留めてください。

端子のネジの締め過ぎには注意してください。端子には腐食防止剤の使用を推奨します。また、塩分および湿度の高い環境下で使用する場合は、必ず腐食防止剤を使ってください。端子の腐食によるバッテリー不良は、補償の対象になりません。

LFXバッテリーのプラス端子が車両のどの部分に対しても接触しないことを確認してください。もとのプラス端子カバーがある場合、バッテリーボックスを取り付ける前に、LFXバッテリーに再度取り付けてください。

SHORAI LFXバッテリーは、容量の90%まであらかじめ充電してあります。したがって、車両で使用する前にあらかじめ充電することは不要かつ、通常は推奨していません。しかし、SHORAI BMS01チャージシステムを使用しているお客様に関しては、同チャージャーは、セルを理想的なバランスに維持し、最良の性能のための診断を行っているので、容量一杯まで充電することができます。



■ 使い方

どのタイプのバッテリーにおいても、最も損傷の原因となりやすい2つの条件は、高温場所での長期保存で、放電をより促進してしまうことです。

鉛酸バッテリーと比較すると、LFXは平均自己放電率が1/6～1/7以下であるため、メンテナンスなしで鉛酸バッテリーよりも長い期間の保管が可能です。事実、車両側の主電源がオフでシステム中に電流が流れていない場合、SHORAI LFXは損傷なく一年以上保管可能です。

主電源を切っても電流が流れる車両は、電流出量の量に合った頻度で、定期的にバッテリーに充電する必要があります。この場合、専用STORE(保管)モードのあるSHORAI BMS01 Battery Management Systemの使用を強く推奨します。この商品は、バッテリーの電圧レベルを監視、バッテリー寿命に最適な電圧レベルが維持できるように自動的に充電し、それと同時に内部電池と監視用バッテリー状態のバランスをとります。

どのタイプのバッテリーも、高温環境は消耗速度を加速させます。LFXを保管する場合、最長寿命の理想温度は気温1℃です。こういった理由から、車両はできるだけ涼しい場所に保管することが理想的です。車両を長期にわたって使用しない、また高温の環境に置かれる、ということが事前にわかっている場合、LFXをとりはずし、涼しい場所(冷蔵庫でも可)に保管すると良いでしょう。その場合、端子にはテープを貼り、バッテリーはプラスチックなどの袋などに入れてショートや腐食を防いでください。

以上の温度に関する記載は、一般的にどのタイプのバッテリーにも適用されるものであり、過剰に守る必要はありません。この保管の手引きは、新品のSHORAI LFXバッテリーをできるだけ長く使いたい人のためのものです。



■ 保証

SHORAI JAPAN は、LFX バッテリーの原材料および加工仕上げの不具合を、ご購入後3年間制限つきで補償します。

■ 補償対象外

- ・バッテリーケースの分解または加工。
- ・バッテリーセクターで推奨しているサイズ以外のバッテリーを使用した場合。
- ・スターターバッテリー以外の用途で使用した場合。

- ・ボアアップや圧縮比アップ等のエンジンカスタム車両への取付け。(エンジンカスタム車両への適合はSHORAI JAPANまで直接お問い合わせ下さい)
- ・購入後に発生した、梱包への物理的損傷(衝撃、水/塩による腐食、など)
- ・過電圧チャージ、チャージャーそのものあるいはユーザー設定によるチャージャーのエラー
- ・クランキング(CCA=ColdCrankingAmpere)仕様を超えた状態での利用
- ・10秒間以上の連続したクランキング
- ・端子あるいはBMSポートのショート
- ・過放電による損傷(12Vシリーズで9.0V以下、6Vシリーズで4.5V以下に放電した場合。12Vシリーズで13.0V以上、6Vシリーズで7.5V以上を保持する事により、高い性能をより長期間保つ事が可能です)
- ・5ピンBMSポートへの不適切な接続
- ・過放電による損傷(ヘッドライトやグリップヒーター等の消し忘れには注意して下さい)

■ 返品に必要なもの

- ・領収書原本(あるいはSHORAI JAPAN 注文ID 番号)の写し
領収書あるいは注文ID番号のない返品の場合、同タイプのバッテリーを(希望小売価格の)30%引きで交換します。返品時の送料は当社が負担します。

SHORAI JAPANでの社内テストにて不具合が確認されなかった場合、お客様の送料負担で商品を返送します。

補償は購入後から4つの期限によって実施します。

補償率は以下の通りです。

月数	1～6ヶ月	7～12ヶ月	13～24ヶ月	25～36ヶ月
メーカー希望売り価格からの割引	100%	75%	50%	25%

バッテリーの初回返品時、送料はお客様の負担となります。

SHORAI JAPANは、領収書あるいは注文ID番号のないお客様を除き、代替バッテリーの送料を負担します。

■ 補償外の返品

SHORAI JAPANのインターネットサイト経由で購入された「新品」状態の商品は、購入後30日以内であれば、どの商品も返品可能です。その他の販売者への「新品同様」の返品については、販売者に返品条件を確認してください。

商品には領収書の写しあるいは注文ID番号と、納入時の「新品」状態の梱包が必要です。

返金は、「送料無料」商品であった場合、実際の送料を引いた金額となります。商品や梱包に損傷がある場合、その程度に応じて新品再生費用が加味される場合や、返金が全く行われない場合があります。

■ 輸送時の損傷

輸送中に発生した損傷についてはすべて、開梱直後に輸送業者ならびにSHORAI JAPANにご連絡ください。連絡があるまで、すべての梱包材を受領時のまま保管しておいてください。輸送業者と協議後、SHORAI JAPANより速やかに対応内容を連絡します。

この度はSHORAI LFXをご購入いただき、ありがとうございます！

当社の商品をお客様に何年にもわたりご愛用いただけることを願っています。ご質問、問題、ご提案などございましたら、いつでも当社にご連絡ください。

SHORAI JAPAN

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷2-6-21

TEL: 0467-33-5260 FAX: 0467-84-8638

返品に関するお問い合わせ: info@shoraipower.jp

技術的なお問い合わせ: tech@shoraipower.jp

商品の詳細、取り付け方法などについては

<http://www.shoraipower.jp> をご覧下さい。